

浦戸地区の生活再建 ～災害公営住宅事業の進捗状況～

浦戸地区では、これまでに桂島地区（第1期）および野々島地区で災害公営住宅が完成しています。

今年度は全地区での入居開始を予定しており、さらなる浦戸の復興が期待されます。心待ちにしている島民の方々のため、一日も早い完成を目指して整備を進めています。

☎ 復興推進課住宅基盤復興係 ☎ 355-6596

【野々島地区】

他地区に先駆けて、昨年度に全15戸が完成し、住民の皆さんが生活を始めています。



完成写真



▲野々島地区災害公営住宅
まとめ役 鈴木正徳さん

多くの皆さんに支えられ、震災から4年で災害公営住宅に移り住むことができました。入居後は親せきが来る回数が増え、皆笑顔が増えたように思います。

普段は住人同士和気あいあいと助け合いながら生活していますが、これからも食事会などで集まる機会を増やし、さらにきずなを深めていきたいと思っています。これまでのご支援、大変ありがとうございました。



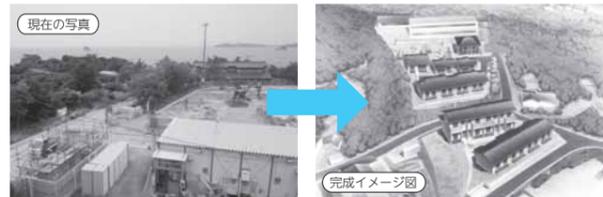
▲桂島地区災害公営住宅
まとめ役 内海勝義さん

入居してからはや数カ月がたちましたが、皆仮設住宅で暮らしていたころと変わらず、互いに助け合いながら過ごしています。最近では、海水浴場への道しるべとして、植木に絵付け作業を行いました。

災害公営住宅で生活できるようになったことは嬉しいことですが、いまだに仮設住宅などで窮屈な暮らしをされている方もいるので、早く工事中の公営住宅が完成することを待ち望んでいます。

【桂島地区】

昨年度に完成した第1期分は、すでに住民の皆さんが生活を開始しています。残りの第2期分は、年度内の完成に向けて、現在建物の基礎工事を進めています。

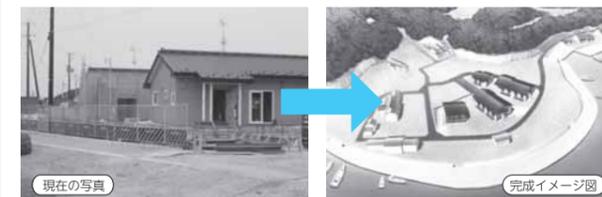


現在の写真

完成イメージ図

【朴島地区】

年度内の全戸完成に向けて、現在建物の本体工事を進めています。

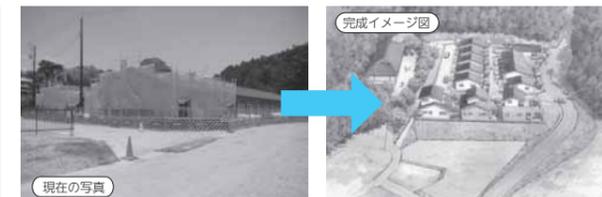


現在の写真

完成イメージ図

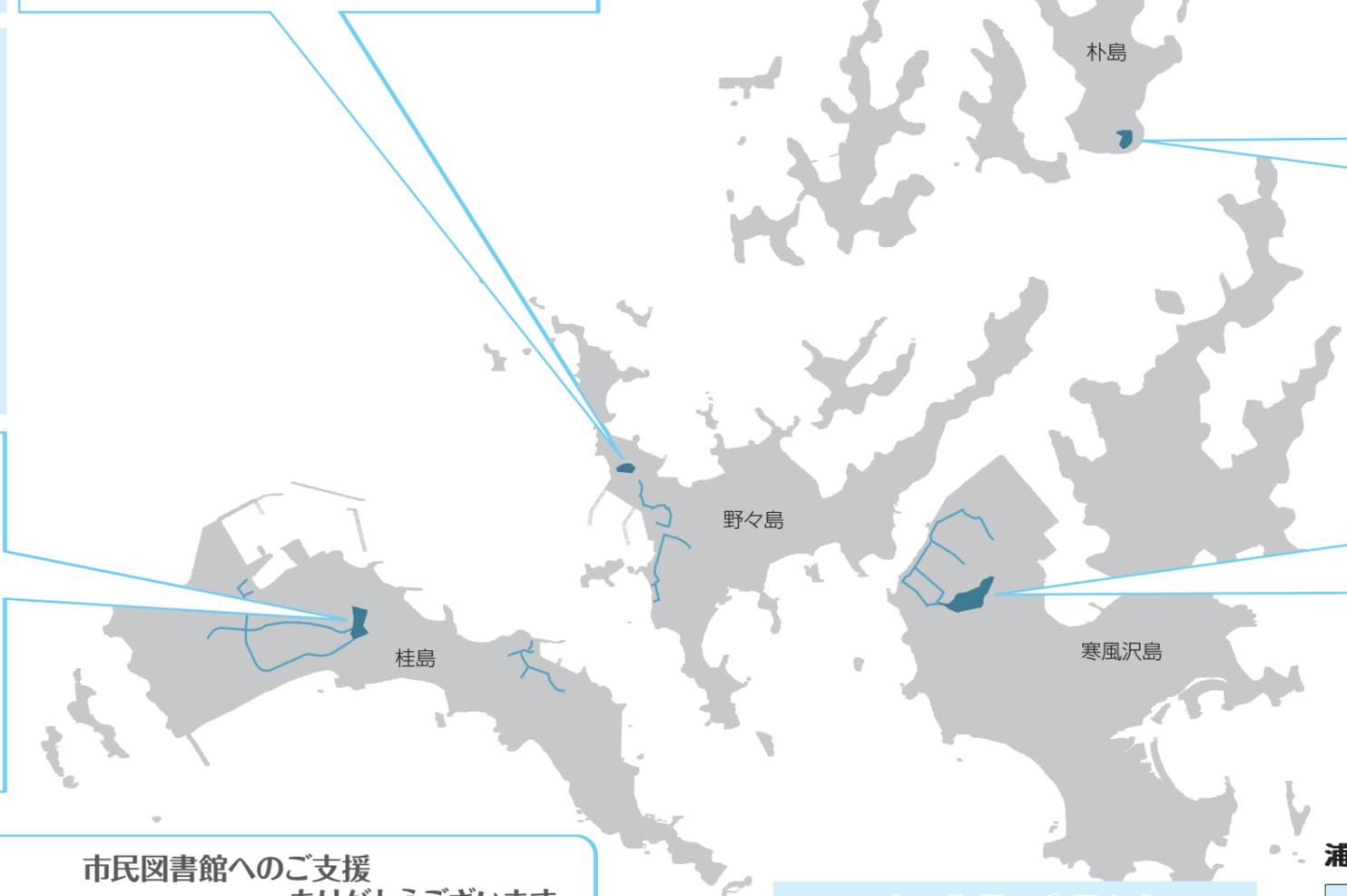
【寒風沢地区】

年度内の全戸完成に向けて、現在建物の本体工事を進めています。



現在の写真

完成イメージ図



復興ニュース

復興支援への恩返し

今年4月に大地震が起こったネパールに対し、適応指導教室『けやき教室』の児童・生徒が「東日本大震災で支援を受けたお返しをしたい」と自発的に募金活動を行っています。

募金をしていただいた人には、お礼として四季桜で作った鉛筆やキーホルダーを渡しています。

▼感謝を込めてキーホルダーをつくります



☎ けやき教室 ☎ 364-5141

市民図書館へのご支援

ありがとうございます

奈良東大寺から被災地支援（寄付）により、市民図書館4階に「学習コーナー」（8席）を整備しました。

オープニングセレモニーでは、利用者を代表して、亀山つばささん（二小・6年）から「新しい机といすが整備されて、ますます勉強しやすくなりました。これから勉強に励みます」とお礼の言葉がありました。



<利用方法について>

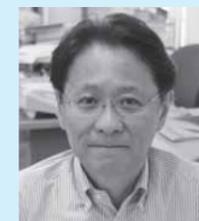
- ・4階カウンターで申し込みください
- ・利用時間に制限はありません
- ・パソコンや電子辞書などの持ち込みができます

☎ 市民図書館 ☎ 365-4343

市の復興に全国から 応援いただいています！

7月1日現在、20の自治体から41人の派遣職員の方々に支援いただいています。

おのひろあき
小野 浩明 さん
(水産振興課)



- ①派遣元行政機関 復興庁
- ②業務内容 魚市場整備事業 水産加工団地関連事業
- ③メッセージ 塩竈市の復興のために頑張ります。

浦戸地区災害公営住宅の整備状況

地区	完成済	工事中	備考
桂島地区	8戸	6戸	年度内完成、入居予定
野々島地区	15戸	-	全戸完成済
寒風沢地区	-	11戸	年度内完成、入居予定
朴島地区	-	5戸	年度内完成、入居予定
計	23戸	22戸	